|  |  |
| --- | --- |
| 氏名（フリガナ）　テ　ジ　マ　　ト　シ　オ手　島　利　夫 | 江東区立八名川小学校　前校長（～2018．3．31）内閣府 ＥＳＤ円卓会議　前委員（2007～2018）共創型対話学習研究所所員（2015～）日本ＥＳＤ学会　前副会長（2017～2020）ＮＰＯ法人日本持続発展教育推進フォーラム理事（2018～） |
| 「ＥＳＤ，ＳＤＧｓ推進研究室」室長 |
| Emailアドレス　　contact@esdtejima.com |
| 携帯電話　０９０－９３９９－０８９１ |
| プロフィール■生年月日（西暦）　１９５２年（昭和２７年）　８月２０日（2020年8月で満６8歳に・・）■役職等ＥＳＤ円卓会議委員（2007年～2018年）、共創型対話学習研究所所員（2015年～）、日本ESD学会副会長（2017年～2020年）、日本持続発展教育推進フォーラム理事（2018年～）江東区立八名川小学校 前校長(2010年～2018年)　■経歴　１９７５年　早稲田大学社会科学部　　　　　　卒業　１９７７年　青山学院大学文学部Ⅱ部教育学科　卒業　１９７７年　墨田区立第一寺島小学校等、３地区６校を教諭・教頭として歴任　２００５年　江東区立東雲小学校長に着任　２０１０年　江東区立八名川小学校長に着任、　２０１３年　江東区立八名川小学校長として東京都を定年退職し、再任用校長となる２０１８年　江東区立八名川小学校を退任■活動・研究歴　２００６年　江東区立東雲小学校がユネスコ協同学校（現在のユネスコスクール）として認定を受け、ESDの研究を開始　２００６年　江東区立東雲小学校が環境大臣賞受賞（4年・エコファミリー・レポート）　２００６年　馬場財団より第１７回国際理解教育奨励賞「馬場賞」を受賞　２００９年　内閣府による関係省庁連絡会議（ESD円卓会議）委員に就任（～２０１８年）　２００９年　韓国政府日本教職員招聘プログラム訪問団団長代理として参加（ESDの交流）　２００９年　第１回ユネスコスクール全国大会でＥＳＤカレンダーの活用を踏まえた事例を発表　　　　　　　この年以来、毎年事例発表者やファシリテーターとして大会運営に協力　２０１１年　江東区立八名川小学校がユネスコスクールとして認定される　２０１１年　第３回ユネスコスクール全国大会全体会場（東京海洋大学）において八名川小学校６年児童によるESDの授業（さかなくんとのコラボ）を公開　２０１２年　ユネスコ国内委員会ユネスコスクールガイドライン検討委員会委員に就任　２０１３年　ユネスコ国内委員会教育小委員会外部有識者に就任　２０１３年　「持続可能な開発のための教育に関するユネスコ世界会議」ステークホルダーの主たる会合に関する運営協議会委員　２０１３年　文部科学省・岡山大学主催ＥＳＤユネスコスクール研修会にて基調講演　２０１３年　博報財団・博報児童教育振興会　第４４回「博報賞」に応募、教育活性化部門で博報賞を個人受賞　２０１４年　博報教育フォーラムにて、ＥＳＤを踏まえた教育の活性化について発表　２０１４年　文部科学省国際統括官付　ユネスコ世界会議関連事業審査委員会委員　２０１４年　ユネスコスクール世界大会：宣言起草委員会委員　　等　２０１４年　ESD世界会議ジャパンレポートが八名川小学校の実践を日本の優良事例として掲載　　　　　　　パリ・ユネスコ本部よりESD世界会議への招待者として招かれる　２０１７年　日本ESD学会副会長就任　２０１７年　パリ・ユネスコ本部アレキサンダー・ライヒト氏を表敬訪問　２０１７年　第１回ジャパンＳＤＧｓアワードに応募し、特別賞「パートナーシップ賞」を受賞２０１８年　外務省　教育に関わる国際教育協力連絡協議会にて日本におけるＳＤＧｓ推進事例を発表２０１８年　ＥＳＤ円卓会議にて「ＥＳＤのＳＤＧｓへの貢献」について発表２０１８年　ＳＤＧｓ推進委員会（衆議院議員会館）にてＳＤＧｓ推進事例を発表２０１８年　全国銀行協会主催　ＥＣＯ壁新聞コンクール審査員２０１９年　海と日本プロジェクト「子どもと海のＳＤＧｓ」全国１０校で授業提供２０２０年　朝日学生新聞社主催「動画で学ぶＳＤＧｓ」（ＳＤＧｓって何だろう）（新型コロナウイルスから始めるＳＤＧｓの学び）公開２０２０年　朝日新聞ＤＩＧＩＴＡＬ［先生のためのＳＤＧｓ］５本の講演動画公開　■受賞歴　２００６年　江東区立東雲小学校が環境大臣賞受賞（4年・エコファミリー・レポート）　２００６年　馬場財団より第１７回国際理解教育奨励賞「馬場賞」を受賞　２０１３年　江東区立八名川小学校が第４回ユネスコスクール全国大会にてESD大賞を受賞　２０１３年　博報財団・博報児童教育振興会　第４４回「博報賞」教育活性化部門個人受賞　２０１７年　政府SDGｓ円卓会議が主催する第１回ジャパンSDGｓアワード特別賞を八名川小学校が受賞、代表児童、職員とともに首相官邸での受賞式に出席２０１８年　ユネスコスクール/ＥＳＤ推進功労賞・日本ユネスコ国内委員会会長賞受賞 |
| ■主要著書・論文・文集等（発行年月（西暦）/ タイトル /　発行所）、２００８年　**『未来をつくる教育ESDのすすめ』**日本標準（多田孝志氏・石田好広氏との共著）２００９年　『公立小学校におけるESDの一実践』明石書店（開発教育2009　実践事例報告）２００９年　「ＥＳＤの10年」中間年会合（ドイツ・ボン）へのジャパンレポートに東雲小学校での事例が掲載される。２０１１年　教育新聞「ユネスコスクールスタートアップ」１０回連載２０１２年　教育新聞「「何が育ち何が変わるのか・ESDの成果を語ろう」５回連載２０１３年　「小学校でESDを推進する教員研修プログラム」国立教育政策研究所ESD最終報告２０１３年　『グローバル時代の学校教育』に「学校教育におけるＥＳＤ教育の進め方」掲載、三恵社（日本学校教育学会講演）２０１４年　日立環境財団「環境研究」№１７３　世界に向けて発信する日本のユネスコスクール　　　　　　の価値と成果２０１４年　ＥＳＤ世界会議に関するジャパンレポートに江東区立八名川小学校のＥＳＤカレンダーを中心とした実践を掲載　他２０１４年　参議院予算委員会で八名川小学校のＥＳＤカレンダーが紹介され、文部科学大臣が全国の学校教育で活用促進することを明言する２０１７年　都政新報「提言・東京の教育・大改革～あるべき学力を求めて～」２０１７年　**教育出版社より、単著『学校発・ESDの学び』上梓**２０１８年　東洋経済ONLINE ｢SDGs｣に取り組む公立小､学力急上昇の秘訣」掲載２０１８年　教育出版社ホームページ上に、『学校発・ESDの学び』上の図版３２枚をアップロード２０１８年　東京教育研究所　現代学校経営シリーズ№６０「カリキュラム・マネジメントと学校経営」に、「ESDを軸とした教育課程と学校経営」掲載　　　　　　その他多数２０１８年　教育出版ホームページ上に「手島先生、『ＥＳＤについて質問です！』」連載 |

簡易版プロフィール

手島利夫（てじまとしお）

1952年、東京に生まれる。

2005年以来江東区立東雲小学校長、江東区立八名川小学校長を歴任し、ユネスコスクールとしてＥＳＤカレンダーの開発・ＥＳＤの推進に努め、両校ともにユネスコスクール・ＥＳＤ大賞を受賞。2007年以来2018年まで内閣府ＥＳＤ円卓会議委員等の役職を務め、ＥＳＤの普及・拡大に努める。

2014年、ＥＳＤ世界会合に参加。2015年、博報児童教育振興会より教育活性化部門で博報賞を個人受賞。2017年、八名川小学校がジャパンＳＤＧｓアワード特別賞を受賞。2018年

ユネスコスクール/ＥＳＤ推進功労賞・日本ユネスコ国内委員会会長賞を個人受賞

2018年退職し、「ＥＳＤ・ＳＤＧｓを推進する手島利夫の研究室」を開設。

主な役職は、江東区立八名川小学校　前校長（～2018．3．31）、内閣府 ＥＳＤ円卓会議前委員（2007～2018）、ＮＰＯ法人日本持続発展教育推進フォーラム理事（2018～）、日本ＥＳＤ学会前副会長（2017～2020）、共創型対話学習研究所所長補佐（2018～）、著書に『未来をつくる教育ESDのすすめ』日本標準。『学校発・ESDのすすめ』教育出版。

ＥＳＤ，ＳＤＧｓを中心として、年間70回以上講演や授業提供などに取り組むとともに、国内外の約1900名に向けて不定期のメールマガジン「ＥＳＤＧｓ通信」を発信中。